

《物価とお金の価値》

10000円

=

1000円のピザ10枚分の価値



ピザの値段が2000円に値上がり！

10000円



1万円の価値はピザ5枚分に目減り↓

ピザの値段が500円に値下がり

10000円



1万円の価値はピザ20枚分に増加↑

《視点を変えると全く違った解釈ができる》

世間で常識のように言われていたり、定説化しているようことでも、視点を変えて見ると、全く別の解釈ができることがあります。“常識”にとらわれず、現実を客観的に捉える習慣を身につけましょう。

(例) **常識：1ドル=75円は「超円高」である**

比較する基準を変えてみると...

固定相場時代の1ドル=360円に比べれば、間違いなく「超円高」だが、戦前（1939年10月～1941年12月）の為替レートは、100円あたり23.4375ドル、つまり、**1ドル=4.27円（1910年代は1ドル=2円程度）**※。これを基準にすれば、1ドル=75円は「超円安」ということになる。

※日本銀行金融研究所「歴史統計」より

戦後に取り決められた「1ドル=360円」がそもそも尋常ではない円安水準だったのではないか？？

といった発想も出てきます。

SAMPLE